

# MOVING

情報誌 ムービング

2023.6



CONTENTS

- 2 | **特集1** ~世代を超えてつくる男女共同参画の「今」と「未来」~  
「ムービング」100号記念座談会  
6 | ムーブフェスタ2023 7月1日(土)~7月22日(土)  
8 | **特集2** 発達心理学とジェンダーステレオタイプ  
10 | 誌上講座[第1回] ケアする男性たち  
内なる「アンコンシャス・バイアス」との葛藤

- 11 | リレーエッセイ  
12 | ムーブ実施事業 年間スケジュール  
14 | **Cutting-Edge**

## 特集1

~世代を超えてつくる男女共同参画の「今」と「未来」~

# \*「ムービング」 100号記念 座談会\*



令和5年3月30日(木)於:北九州市役所 撮影:船尾修 文:塩出桂子

「ムービング」100号を記念して、日頃から男女共同参画の推進に尽力されている各界の方々に、それぞれの視点から北九州市とムーブの過去・現在・未来について語っていただきました。

## 産・官・学・民、それぞれの目に映る 男女共同参画

一はじめに、自己紹介を兼ねてこれまでの取り組みや関心事をお聞かせください。

**市長** 就任以来、市のいろいろな分野のレクチャーを受けていますが、中でも男女共同参画推進は急務だと思っています。世界60カ国を回ってきた中で日本のジェンダー問題は大きく遅れていると実感しました。女性があらゆる分野で力を発揮し、男性としっかり一緒に働き、知恵を出し合うことがイノベーションにつながると思っています。

**籠田** ゼひ大急ぎでお願いします！というのも、私が社会に出たのはちょうど男女雇用機会均等法が制定された年でしたが、建設業界は男社会で「女は我慢して当然」という抑圧された職域でした。あれから数十年たった今なお根深い差別があることを肌で感じているからです。

そんな男性多数の業界ですが、わが社の従業員は9人中8人が女性です。女性が働き続けるためのさまざまな工夫が評価され、北九州市や内閣府から表彰を受けました。

**沼田** 私が所属する「北九州市女性団体連絡会議」は、女性活躍100%の団体です。さまざまな分野で活動する市内約90の女性団体、約2000人が男女共同参画社会の実現を目指し、まちづくりと地域活性化に取り組んでいます。その成果は講演会やワークショップを通じて発信し、啓発にも努めています。

**大島** 私は仕事柄、教育・学習面で男女共同参画に関わることが多いのですが、学生たちと話をすると、問題意識はありませんと感じます。学校は平等を意図し、ジェンダー・ギャップ解消に取り組んでいる場所なので、男女差別を感じることが少ないのでしょう。

けれども、社会にはまだ固定的性別役割分担意識が残っています。学生たちが社会に出て差別や格差に直面する前に、実態や現実を知って心構えを持ってほしいし、彼ら自身が改善の主体となってほしいですね。

一今のお話を聞いて、現役大学生の有永さんはどう思いますか？

**有永** 私自身は昨年、ムーブの事業で高校生と一緒にジェンダー問題の探究学習を行う機会をいただきました。大学で

もジェンダー論の授業があり、関心のある学生は選択していますが、誰もが問題意識を持っているわけではありません。

今のお話を伺って、社会人になって初めて問題に直面した時、予備知識があるかないかで対応も変わってくるなどと思い、改めて学びの重要さを感じました。

## ジェンダー課題の核心は 男女間の意識の隔たりにあり！？

—ジェンダーの視点から北九州市の変遷をたどると、かつての深刻な公害問題を克服し、環境未来都市となった背景には婦人会の「青空がほしい」運動<sup>※1</sup>があります。その後、国連女性の10年<sup>※2</sup>には本市も男女共同参画の施策を拡充し、平成7(1995)年にムーブが誕生しました。近年では「ウーマンワークカフェ北九州」や「イクボス」の推進など、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの機運は高まっています。

こうした本市の過去を踏まえ、現在はどのような課題があると思いますか。

**有永** 現在は「性的指向」や「性自認」など性の捉え方も変わってきて、男性・女性の2つだけに分けられない、性の多様性を認めようという時代になっています。

一方で、性の多様性に関しては一人一人考えも違うため、みんなでは話しづらいところも……。心を開いてくれた相手なら個人的に話をして、その人の思いや考えを知ることができます。もし、友だちが当事者で誰にも言えず一人で悩んでいたとしたら、支援の手は届きにくい状況です。

**籠田** 声を上げられない人が多く、表面化しにくい課題は支援も難しいですね。建設業界でも、全国の女性技術者・技能者500人超へのアンケートで、実に3分の1以上がセクシュアル・ハラスメントを受けたことがあると答えているのに、そういうことはあまり表に出てきていません。

また、建設産業に就職する女性は全国平均の男女比で約30%まで増えているのに、実際に現場で働く女性技術者は5%にも満たないというギャップも問題です。業界に残る「女が仕事をするのは結婚するまで」といった固定観念が原因で、リタイアする女性が多いのです。

こうした業界風土を北九州市の建設業から抜本的に変えることができれば、そこには大きなビジネスチャンスがあるのではないかと考えます。

一各国の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数でも、日本は特に経済・政治における順位が低いですね。



北九州市長  
たけうち かずひさ  
**武内 和久**さん

東京大学卒業後、約20年に及ぶ厚生省(現・厚生労働省)や民間企業での勤務を経て、今年2月20日より北九州市長に就任。



(有)ゼムケンサービス 代表取締役  
(一社)けんちくけんせつ女学校 代表理事  
こもりた じゅんこ  
**籠田 淳子**さん

女性視点の建築設計施工と、女性活躍の働き方や人財育成に取り組む。内閣府「女性が輝く先進企業表彰」受賞。



北九州市女性団体連絡会議 会長  
ぬまた ふみこ  
**沼田 文子**さん

北九州市立幼稚園で教諭・園長として幼児教育に携わる中で、北九州市教育委員会指導部指導主事を4年間務める。



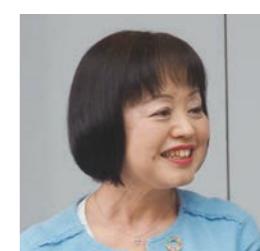
九州女子大学 人間科学部 教授  
おおしま  
**大島 まな**さん

専門は社会教育・生涯学習。北九州市男女共同参画審議会会長のほか、地域課題解決学習等の講師も請け負う。



北九州市立大学 地域創生学群4年<sup>※3</sup>  
ありなが ゆうか  
**有永 優香**さん

昨年、市内高校生とジェンダー問題の探究学習を行うムーブの事業で学生メンターを務めた。



【司会進行】  
北九州市立  
男女共同参画センター・ムーブ 所長  
こいし さおり  
**小石 佐織**

※1 「公害のまち」と呼ばれていた北九州市で、子どもの健康を心配した母親たちが「青空がほしい」とスローガンを掲げ、自ら大気汚染の実態を調べて、その結果をもとに企業や行政に改善を要求した公害克服運動。

※2 第30回国連大会は昭和50(1975)年を「国際女性年」とし、世界会議を開催。平等、開発、平和の3つの目標達成のために、その後の昭和60(1985)年までを「国連女性の10年」とすることを宣言した。

※3 令和5年4月から。

**沼田** 育児の面でも男女の不平等を感じています。私が幼稚園教諭になりたての頃、子どもの送迎はほとんど母親や同居の祖父母がしていましたが、私が園長になる頃には核家族化が進み、共働き世帯が増え、保護者の送迎は難しい状況になっていました。

こうした共働き世帯では、「産休・育休の取得」「育休後の職場復帰」など悩んだ末に2人目を諦める方もいて、母親への負担が大きいと感じました。ぜひ父親の積極的な子育てへの参加をお願いします！

平成26(2014)年には北九州市も「イクボス宣言」を行いましたが、ただの宣言に終わらず、公的機関が率先して見本を示し、民間企業が続きやすいようアピールしてもらえないませんか、市長？

それから、安心して子どもを預けられる病児保育施設が増えることを切に願っています。

**市長** 確かにジェンダー・ギャップは大きな課題ですね。北九州市で行った「男女共同参画社会に関する調査」でも、性別による役割分担意識は薄れてきているのに、実際の達成感を見ると、家庭生活で男女平等を達成できていると回答したのは、女性がわずか14.5%なのに対して男性は33.3%。女性の倍以上の男性ができていると思い込んでいる認識と行動のギャップが問題の核心で、男性改革が必要だと感じます。

ただ、本日唯一の男性対談者の観点から補足すると、女性の身体的特徴や健康問題、例えば生理の問題一つ取っても、何か口にすればハラスメントに当たるのでは……と、男性がためらいを感じていることもお伝えします。

## 社会の意識改革は若者へのアプローチから

一皆さまから伺った課題に対し、ムーブは今後どうあるべきでしょうか。

**大島** ムーブのエンパワーメント講座をパワーアップして



もらえないでしょうか。ポイントは二つあって、一つは「特化したテーマで対象を絞り込むこと」、もう一つは「より多くの人に広く啓発すること」です。若者にさまざまな問題や実態を知ってもらい、「自分も社会を変えていく一員だ」と自覚を持って学んでもらうことが大事なので、子どもにも学生にも広く啓発を行ってほしいです。

**有永** 私も、高校生や小中学生の頃から学びの機会があればいいなと思います。例えば、中高生の授業の一環として出前講座を行うとか、小学5、6年生を対象に「学校でお話を聞く会」のような場を設けるとか、いろいろな世代にアプローチしてもらいたいです。

一若い世代の方々が男女共同参画をけん引してくれれば心強いですね。市長はどうですか？

**市長** ムーブにいろいろな世代や職種の方が一緒に議論するプラットホームがあつたらいいのではないかと思います。そして、男性改革。もちろん私もできるだけ協力します！

## 女性を独りぼっちで頑張らせないために

一皆さまのご意見にムーブ所長として身の引き締まる思いです。次は、ムーブと二人三脚で男女共同参画を推進する市政への期待をお聞かせください。

**大島** 両立支援＝子育ての印象ですが、介護も女性の負担が多く、介護離職の増加が懸念されています。若い子育て世帯だけでなく、40～50代の働き盛り世代の支援もお願いします。

また、「女性活躍推進」の背景には少子化問題があります。日本の将来を支える生産年齢人口が減っているため、女性には子どもを産んでほしいし、労働力が足りないから仕事もしてほしい。さらには家事・育児もこなして、地域の草刈りにも参加して……。結局、お母さん一人が陥しい顔をして頑張り、楽しい子育てを思い描けない現状は大きな

問題だと思います。

真の両立支援には、未来を担う子どもたちを社会で育て、みんなが笑顔でいられる施策が必要ではないでしょうか。経済優先、労働力補填といった発想では少子化に歯止めはかかるのでは？

**沼田** そうそう。「母は強し」で、女性は本当に頑張っています。先ほど所長がおっしゃった「青空がほしい」運動も、「家族の健康を守りたい」という母親たちの熱い思いが生み出しました。女性団体連絡会議には今も脈々とその熱意が流れています。自治体のビジョンと協働できることがあれば、喜んで取り組んでいきたいと思います。

一市民の行動力こそ北九州市の特長だと私も日頃から感じています。では籠田さん、産業界が市政に期待することは？

**籠田** 建設産業における女性の活躍推進を語る時、必ず出てくるのがトイレの問題ですが、実は生理の問題でもあります。市長がおっしゃったように生理の話はタブー視されがちですが、妊娠、出産、更年期など女性の体の変化について、もちろん男性の体特有のことについても、もっと普通に語り、情報を共有し、お互いを受け入れ合える社会になるよう、市とムーブと一緒にさまざまなステークホルダー（利害関係者）に働きかけてもらいたいです。

一皆さまのお話を受け、市長として今のお気持ちは？

**市長** 多方面の切り口からアプローチをいただいたので、できることからチャレンジしていきます。そのために、まずは眞実を知ることが大事です。北九州市の立ち位置や賃金、労働率の水準などのファクトと向き合い、何から手を付けるべきか見定めなければ。

それから、本日出たアイデアを生かして、いろいろな面で女性にとって快い「快」を目指さなければと思いますし、特に女性のヘルスケアには力を入れたいと思っています。

## 未来へのアクション ～男女共同参画社会の実現に向かって～

一最後に、男女共同参画推進に向けた今後のアクションと決意をお聞かせください。

**有永** 私はまだ学生ですが、社会に出た時、今日伺ったお話を実際に経験するのだろうと思います。その時、「自分も男女共同参画の当事者であり、社会を構成する一員である」という意識をしっかりと持って振る舞えるようになりたいです。

**大島** 私は定年退職が近いのですが、今後も若者の教育



には携わりたいですね。また、専門の社会教育に立ち返り、地域の人たちと一緒に子育て支援や高齢者の社会参加、まちづくりなどの課題にも取り組みたいです。

**籠田** 建設業の女性活躍といつても、55歳以上の就業者が35%という高齢化産業もあります。そこで今、早稲田大学と共に、AI（人工知能）+AR（拡張現実）を実装した「愛あるマネジメントツール」の開発を進めています。有能な技能者たちの技術・技能をはじめ女性の視点や思いまで、すべてをデジタル化することで、家づくりだけでなく未來の暮らしづくりに取り組んでいます。

**沼田** 篠田さんは「建設界のジャンヌダルク」ですが、私たちにも活動のモデルとなる方がいました。神戸以西の公立中学校で初の女性校長となった寺坂カタエ先生です。自ら先頭に立って女性の地位向上に力を尽くされ、専門の物理学の観点から、「動き続けてこそ『運動』。一步一歩前に向かって地道に進みなさい」と、導きの言葉をくださいました。

今年、女性団体連絡会議は40周年を迎えます。私たちは寺坂先生の意思と行動力とを受け継ぎ、止まることなく一步一歩活動を進めてまいります！そして、一人一人の女性がその人らしく生き、前に進んでいってほしいですね。

**市長** 皆さまから多くのアイデアを頂き、改めて考えを深めることができました。男女共同参画は多分野にわたる課題が多いので、組織の枠を越えて政策を進めたいと思います。

それには「まず腹より始めよ」で、まずは私自身、そして市役所のリーダー層の意識から変え、ロールモデルになるような組織に変えていこうと決意を新たにしました。

一本日は貴重なご意見の数々、ありがとうございました。ムーブはこれからもジェンダー平等と女性のエンパワーメントに力を注いでまいりますので、ご指導とご協力のほどよろしくお願いいたします！



## オープニングイベント

### ひらの けいいちろう 平野啓一郎さん講演会

#### 生き辛さの処方箋～「分人」という発想～

北九州市出身の小説家 平野啓一郎さんがムーブへやって来ます。

「自分とは何か」という問いは、他者との関係を築く上で基本です。私たちの社会は、「個人(individual)」という概念に基づき形成されていますが、講師は近年、さらに小さな「分人(dividual)」という単位を導入して、アイデンティティとコミュニケーションについての新しい認識の必要性を説いています。予測不能な未来を生きるための新しいアイディアと一緒に考えてみませんか。

**入場無料** 7月1日(土) 13:30~15:00  
[会場] ムーブ 2階 ホール [定員] 500名

要事前申込 **申込締切 6月15日(木)** ※申込多数の場合は抽選

託児要予約 1人500円(6ヶ月~就学前のお子さん)

お申込み・お問合わせ

事業課 TEL:093-288-6262 FAX:093-583-5107

E-mail: event@move-kitakyu.jp

電話、ムーブホームページ、QRコードにて受付

(申込事項) 郵便番号、住所、氏名、電話番号、

託児を希望する場合はお子さんの名前と月齢



©ogata\_photo

#### Profile

1975年生まれ。北九州市出身。京都大学法学部卒。1999年 在学中に文芸誌「新潮」に投稿した「日蝕」により第120回芥川賞を受賞。40万部のベストセラーとなる。以後、一作ごとに変化する多彩なスタイルで、数々の作品を発表し、各国で翻訳紹介されている。

著書に、小説「葬送」、「滴り落ちる時計たちの波紋」、「決壊」、「ドーン」、「空白を満たしなさい」、「透明な迷宮」、「マチネの終わりに」、「ある男」等、エッセイに「本の読み方 スロー・リーディングの実践」、「小説の読み方」、「私とは何か」「個人」から「分人」へ、「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義、「考える葦」、「カッコいい」とは何か、「死刑について」等がある。2019年に映画化された「マチネの終わりに」は、現在、累計60万部超のロングセラーとなっている。「空白を満たしなさい」の連続ドラマ化に続き、「ある男」を原作とする映画が2022年秋に公開。最新作は、「自由死」が合法化された近未来の日本を舞台に、最新技術を使い、生前そっくりの母を再生させた息子が、「自由死」を望んだ母の、<本心>を探ろうとする長編小説「本心」。

### 第25回 ジェンダー問題 調査・研究報告会 テーマ「女性管理職のキャリア形成ーー皮むけた経験を探るーー」

**参加無料** 7月14日(金)  
19:00~20:30  
[会場] ムーブ 5階 大セミナールーム  
[定員] 80名(先着)

要事前申込 託児要予約 1人500円(6ヶ月~就学前のお子さん)

[報告者]  
熊本学園大学  
商業部 准教授 德永 彩子さん

[コメントーター]  
極東ファディ株式会社  
取締役 商品経営本部長 吉水 謙子さん

お申込み・お問合わせ  
情報課 TEL/FAX:093-583-5082  
E-mail: move@move-kitakyu.jp  
電話、FAX、ムーブホームページにて受付  
(申込事項) 郵便番号、住所、氏名、電話番号、  
託児を希望する場合はお子さんの名前と月齢



## イベントステージ



第1部

### 世界の行政官とおしゃべりしよう ～ジェンダーカフェによるこそ～

日英通訳あり

ジェンダー平等の実現のために世界各国で活躍する行政官たちと気軽にお話ししませんか？普段感じているジェンダー問題などについて語りたい方はもちろん、国際交流や海外に興味のある方も、国境を越えてみんなで一緒に楽しくおしゃべりしましょう！

### 第2部 アフリカンスペシャルステージ ～大地の鼓動を体感せよ！～

入場無料



参加無料

夏本番！今年もムーブからエネルギーッシュなステージを発信！  
今回は糸島市を拠点に国内外で活躍するエンターテインメント集団、劇団AFRICAを招聘。本場仕込みのアーティストたちが、西アフリカのビートとサウンドに彩られたステージをお届けします。音楽で心を一つにつなげましょう！

7月15日(土)

第1部 13:00~15:30 [会場] ムーブ 1階 交流広場 [定員] 40名程度

第2部 16:00~17:40 [会場] ムーブ 2階 ホール [定員] 450名

お申込み・お問合わせ

事業課 TEL:093-288-6262 FAX:093-583-5107

E-mail: event@move-kitakyu.jp

電話、ムーブホームページ、QRコードにて受付

(申込事項) 郵便番号、住所、氏名、電話番号、  
託児を希望する場合はお子さんの名前と月齢

※両方に参加を希望する場合は、それぞれお申込みが必要です。



▲第1部

▲第2部

第1部・第2部共通事項

要事前申込 **申込締切 6月16日(金)**

※申込多数の場合は抽選

託児要予約 1人500円(6ヶ月～就学前のお子さん)

[後援] JICA九州

### サマーカーニバル

ダンスや音楽の演奏などでステージ  
を盛り上げます。お見逃しなく！

7月22日(土) 10:30~15:40  
[会場] ムーブ 2階 ホール



### 行列のできる!? 法律相談Q&A

参加無料

離婚や暴力、詐欺などさまざまなトラブルの対応を弁護士と警察官がクイズ形式でわかりやすく解説します。

7月22日(土) 13:00~13:45

[会場] ムーブ 2階 ホール  
(ムーブフェスタ サマーカーニバル内)

[定員] 100名

[講師] 法テラスの弁護士、小倉北警察署

### マガジンリサイクル

7月1日(土)~なくなり次第終了

火～土曜日 9:30~19:00

日曜日 9:30~17:00

[会場] ムーブ 1階

図書・情報室入口



図書室の蔵書のうち、保存期限を過ぎた雑誌などを無料配布いたします。(1人10冊まで)

※お持ち帰りのための袋などは各自でご用意ください。

[お問い合わせ] 情報課 TEL:093-583-5082

### 市民企画事業

7月1日(土)~22日(土)

市民団体の企画で、講演会、コンサート、映画上映、体験講座などの催しを行います！  
子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんです。



### フリーマーケット

7月1日(土)~22日(土)

[会場] ムーブ 1階 交流広場  
雑貨・アクセサリー・衣類など、さまざまな種類のお店が出店します。

